

土浦・つくば支社 ☎029(822)4567 ファクス(823)6488
 取手・龍ヶ崎支局 ☎0297(72)1139 ファクス(74)2700
 石岡支局 ☎0299(26)6100 ファクス(26)6405

県南東

かしてつバス弁当 商品化へ

鹿島鉄道跡を走るかしてつバスの利用促進へ活動している「かしてつバス応援団」の中心校の県立石岡商業高校(原田令子校長)の生徒たちが「かしてつバス弁当」を企画し、石岡市南台のJAひたち野農産物直売所「大地のめぐみ」(島田大久店長)の協力を受け商品化する。29日には試作品が出来上がり、生徒に披露された。

石岡商高生が企画

同校は3学年時に課「健康」の2点で、か題研究があり、弁当をしてつバスPRもテーマ企画したのは課題研究マであることから、かで商品開発をテーマにしてつバスキャラクタ取り組んでいる13人。1がデザインされた。バ弁当のコンセプトは、ツケージに入れて販売「お母さんが作った」する。



県立石岡商業高校の生徒たちが企画した「かしてつバス弁当」 〓石岡市南台のJAひたち野

利用促進へ直売所協力

生徒たちはコンセプトに合わせ、空揚げやナスのしょうが焼きが入った弁当と、雑穀米や豆腐ハンバーグを使ったヘルシー弁当の2種類を提案し、価格設定なども含め直売所と意見を交わしながら商品化を進めてきた。

JAで行われた試作品のお披露目では、生徒たちは出来上がった弁当を食べ、イメージやコンセプトに合うかを確認。班代表の飯村成美さん(18)は「イメージ通りにできています。完成したら多くの人に食べてもらいたい」と話し、担当の松原真司教諭は「JAの協力で1個500円で販売できる。生徒たちにはいい勉強になったのでは」と話した。

弁当は完成後、11月8、9日に開かれる「いばらきものづくり教育フェア」で先行販売され、その後、16、17日に開かれる同直売所のイベントを皮切りに、同直売所で限定販売される。(黒羽根勝弘)